



市長の重要施策を説明する市長

できるものから実行

ご意見・ご提言をもとに

7月に市内6会場で開催したガラス張り公開市長室。参加していただきました皆さん、ありがとうございました。防災や道路の整備、生活交通、環境保全など57件のご意見やご提言をいただき、これらはできるものから実行していきたいと考えます。

ガラス張り公開市長室のデータ

開催期間	7月1日から22日まで
開催場所	西公民館[7/1]、東公民館[7/6]、山手公民館[7/8]、総合福祉センター[7/11]、清音公民館[7/15]、昭和公民館[7/22]の6会場（開催日順）
参加者数	500人
意見・提言数	57件

ガラス張り公開市長室を終えて

今回のガラス張り公開市長室では、雪舟くんの運行や地産地消の「地・食べ」、障がい者の雇用1000人など、市が今年度に取り組む重要施策や部長マニフェ

ストを目標数値とともに紹介。また、3月11日に発生した東日本大震災での総社市の支援活動や、市の今後の防災への考え方も説明しました。これらを基に意見

交換を行い、意見には、市長や幹部職員が答え、現場を見る必要のある意見には、担当の課が現場を見て対応しました。

●道路や防災が多数

意見交換でいただいた意見数は57件。分野別で最も多かったのは、道路の整備の8件。これに、防災・水の7件、生活交通の6件

意見集約レポート

が続きます。合併、河川・橋、教育施設、学校教育、文化財・文化振興、市政全般の分野がそれぞれ3件となっています。

このほか、今年7月から始まったメールマガジンの運用、環境保全、幼稚園と保育園の一体化、農地の取得、企業誘致などへの意見もいただきました。

●災害に備えて

防災・水防に関する意見は全体の約2割を占めました。東日本大震災の甚大な被害を目の当たりにし、万一への備えの重要性を多くの人が認識したためと思われる。

「避難場所を見直す必要があるのでは」。今の避難所が本当に安全かどうか、またその選定方法のあり方への提言でした。これに対し、「避難場所の選定など



意見や提言を発表。写真は昭和公民館

は地域の皆さんと相談しながら行っていきたい」と答えました。また、ため池の堤体の決壊を想定したハザードマップを考へてはとの意見もいただきました。

「災害時に備え飲料水や食糧の確保は」との質問がありました。市では防災公園の常盤公園(三輪)に50トンの水を貯水しているほか、カルピス株式会社岡山工場などと災害時における飲料水の提供の協定を締結

しています。生活交通が6件はすべて、総社市新生活交通「雪舟くん」の運行や利用についてです。

するなど、飲料水の確保に努めていることを紹介しました。

●雪舟くんをより良いものへ

2つの会場で、「土・日曜日も運行を」との要望がありました。雪舟くんはバス・タクシー業者と共存共

このほか、運転マナーや市外に住む子や孫も利用登録できないかなどの要望がありました。市では雪舟くんをより良いものにするため、苦言や苦情を聞き、変えられるところは柔軟に改善していく考えであることを説明しました。



栄を基本に運行しており、土・日曜日まで運行した場合、これらの業者の経営を逼迫させるため、平日のみの運行をしています。

道路改修を求める声でした。

耐震で建替えをする総社中学校の工事計画のお尋ねには、「今年度に設計、建設は平成24・25年度の2か年の計画」と説明しました。

合併に関し、支所の今後についてや合併協定書についてお尋ねがありました。市長は「お互い歩み寄り、心と心がつながる本道の合併を目指していく」と答弁しました。

「市役所で行っているゴーヤのカーテンを、市全体で取り組んでは」「災害が少なく気候の良いことをセイルスし、企業誘致を進めてほしい」などの提言もいただきました。

●住みよいまちに

道路に関しては、見通しの悪い交差点や国道180号の歩道の補修、清音や昭和地区内にある踏切付近の

今回のガラス張り公開市長室でいただいた意見・提言などは、市のホームページで、分野別に発言趣旨と答弁の概要を公開します。

問い合わせ 企画課広報広聴係 (☎92-8214)